



令和 6 年 11 月 1 日

No.107

編集人

公益社団法人

兵庫県精神福祉家族会連合会

新 銀 輝 子

〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2 丁目 1-1 兵庫県福祉センター 6 階 TEL:078-891-3871

メール: hyokaren@citrus.ocn.ne.jp オフィシャルサイト: <https://www.hyokaren.or.jp>

精神障害者の交通運賃割引について

～JR と大手私鉄は 100 km 以下の割引制限の撤廃を～

兵庫県精神福祉家族会連合会 副会長 南部 和幸

国土交通省は 2019 年以来、運輸局経由で交通事業者へ精神障害者の交通運賃割引実施の協力を要請しています。

JR グループ 6 社及び東京メトロ、東武鉄道、小田急電鉄、京阪電気鉄道など大手私鉄 9 社が 2024 年 4 月、精神障害者と介護者の運賃を一定の条件で半額に割引する制度を 2025 年 4 月 1 日から実施すると発表しました。既に導入済みの大手私鉄と 2024 年 6 月導入予定の京成電鉄と合わせ、JR グループ 6 社と大手私鉄 16 社の全てで精神障害者割引が実施されることになります。JR からのお知らせの概要は以下のとおりです。

普通乗車券：第 1 種障害者が単独または介護者と乗車する場合、第 2 種障害者が単独で乗車する場合

定期乗車券：第 1 種障害者または 12 才未満の第 2 種障害者が介護者とともに乗車する場合

普通回数乗車券：第 1 種障害者が介護者とともに乗車する場合

急行券（特定特急券除く）：第 1 種障害者が介護者とともに普通急行列車に乗車する場合

尚、第 1 種障害者は介護者とともに 5 割の割引を受けることができますが、第 2 種障害者の場合、片道が 100 km を超える区間を単独で乗車する場合のみでしか割引を受ける事が出来ません。

これでは、一人で利用した場合 100 km 以下は割引にならない制限があり改善が見られません。又、精神障害者保健福祉手帳には、1・2・3 級は有りますが、1 種、2 種の種別は有りません。何故、今更、このような種別を持ち出してくるのでしょうか。

また、兵庫県には上記以外で精神障害者への割引制度が適用されていない交通機関がたくさん残っています。

これらの問題をひとつずつ、解決していくべく、みんなねっとと協力して活動していきましょう。

令和 6 年度 兵家連から県への要望書(要約)

副会長 南部 和幸

【他障がいとの同等の支援を】

- 1.他障害と同等に精神障害者相談員制度の創設を国に要望して下さい。そのために、相談員の活動内容の集計データ（人員構成、相談内容の分離）を整理して国に報告してください。

【精神障害者の経済援助】

- 2.J R 等交通運賃割引の 100 km 以下の割引制限の撤廃に向け『ユニバーサル社会づくり兵庫推進会議の公共交通部会』に兵家連を参画させてください。
- 3.重度障害者医療費助成の対象を精神 1 級から 2 級に拡大してください。精神障害者の生活困窮度の把握のため当事者へのアンケート調査を要望します。
- 4.自動車税、自動車取得税の減免対象を精神 1 級から 2 級に拡大してください。

【精神障がいについての教育、啓発】

- 5.いじめ・自殺対策のために小中学校での精神疾患についての教育が必須です。福祉学習等に地域の家族会、ピアサポーター等の活用を提言します。
- 6.国連勧告のフルインクルーシブ教育による権利擁護を推進してください。
- 7.精神障害者保健福祉手帳の取得率向上への推進活動を進めてください。

【精神障がい者就労】

- 8.就職した精神障害者の 1 年後の定着率が 49% と低いため、職場での長期的な支援及び就職前の施設との連携による定着化を検討してください。

【医療・年金】

- 9.精神科病院での患者虐待防止策、通報、公表が義務化されましたが、兵庫県の具体的な数値を公表してください。
- 10.自立支援医療費の自己負担軽減を 1 級、2 級を対象に県で検討ください。

【ケアラー(親、兄弟姉妹、配偶者、パートナー、子等を含む)支援】

- 11.兵庫県でケアラー支援条例を創設して下さい。

【退院促進】

- 12.退院促進に向けた地域定着支援のための事業所が少ないため、退院促進が進んでいません。設立時の補助金等促進策等を検討してください。





6 月 14 日 ひょうかれん令和 6 年度 総会を開催しました

令和 6 年 6 月 14 日、兵庫県福祉センターにて令和 6 年度
ひょうかれん総会が開催されました。当日は兵庫県障害福祉班
主査 南場氏をお迎えし、お祝いの挨拶を頂戴しました。

以下が総会の内容です。

令和 5 年度重点課題の評価(抜粋)

1. JR 等交通運賃割引請願活動の継続について

JR グループや私鉄大手が 2025 年 4 月 1 日より精神障害者保健福祉手帳所持者の
第 1 種、第 2 種所持者を対象に割引制度を導入すると発表(R6.4.11)があった。

2. 精神保健福祉医療の改善要望について

令和 4 年度のアンケート集計報告書を作成した。日本福祉大学青木教授による医療
費助成の講演会を 3 回開催した。みんなねっと精神医療への提言に協賛した。

精神医療の問題点を明らかにするために、会誌 106 号(7 月号)に記事を掲載した。

3. 県市町議員精神保健福祉研究会の普及

4. 精神障害者相談員、ピアサポーターに対し講演等で積極的な交流を行い、研修会、 家族教室などで発表者として依頼した。

5. 病院協会や診療所協会との交流について

精神科病院協会と障害福祉課との三者の定例会を開催した。精神科病院協会には、
兵庫県議会議員精神保健研究会、明石市議会精神保健研究会の精神科病院の見学会
開催に協力願っている。

令和 6 年度活動方針(抜粋)

1. みんなねっと精神医療への提言を基盤に家族会活動支援の継続

2. みんなねっと近畿ブロック家族の集い in 兵庫 2024 の成功

3. 家族ならではの相談事業の強化

4. 理事の役割分担による事業の強化

5. ホームページの充実と広報活動の強化

6. 安定した持続可能な運営を図る

精神保健福祉法が改正され 早 6 か月が経ちます。精神障害者を身内に持つ家族の
多様性に視野を広げ、様々な団体にご協力、ご賛同いただけるよう活動してまいりま
す。

【兵庫県委託事業】

こころやすらぐひろば事業

地域生活の理解促進事業

令和 6 年度

兵庫県からの委託事業について

副会長 南部 和幸

兵家連が例年兵庫県から委託を受けて開催している『こころやすらぐひろば事業』と『地域生活の理解促進事業』を紹介します。

『こころやすらぐひろば』は、心に悩みのある一般の方からお話を聞くということが目的です。家族会の方々も始めは私たちには相談は出来ないのではないかと尻込みされていましたが、ご自身もご家族のことで苦労があったからか、いつの間にか相談に来られた方々と和やかにお話ししておられます。「今までこんなに長時間話を聞いて貰ったことが無かった」と涙されることもあり、笑顔で帰って行かれる背中をお見送りするとお話しができて良かったと思います。相談に来られて何人かは家族会に仲間入りされました。昨年度のデータを下記に紹介します。

令和6年度からは、新しく丹波市の木の根会家族会と三田市のにじの会が『こころやすらぐひろば』を開催されます。

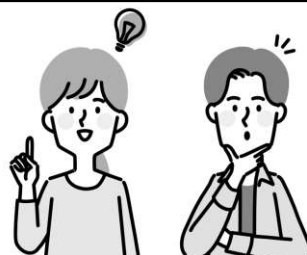
こころやすらぐひろばの開催状況(2023年度)

市町	開催場所	開催状況	参加者/回	メールや電話/月
三木市	ほのぼの会	毎月第 3 土曜日	5~15 人	20~25 人
明石市	明石ともしび会	毎月第 1,3 日曜日	7~23 人	15~30 人
福崎町	中播磨峰の会	毎月第 2 日曜日	4~14 人	10 人前後
神戸市	兵家連	毎月第 2 金曜日	相談者合計 10 人	
南あわじ市	みはら家族会	毎月第 4 日曜日	相談者合計 57 人	

『地域生活の理解促進事業』は、一人暮らしの当事者に焦点を当て「親なきあと」を見据えた支援に関する研修会です。各地域の基幹相談支援センター等に講師を依頼しています。

昨年度は5地区7家族会の開催がありました。様々な方法で開催されていますが、当事者やヘルパー、訪問看護等色々な方からのお話があり理解が深まってきているのではないかと考えています。

研修会・家族教室のご案内



令和 6 年度精神保健福祉研修会(実績・予定)

地区名	開催予定日	開催場所	担当家族会
但馬/丹波/北播	令和 6 年 10 月 12 日	丹波市 ハートフルかすが	木の根会家族会
中・西播磨	令和 6 年 8 月 23 日	福崎町文化センター	中播磨峰の会
阪神	令和 6 年 11 月 30 日	芦屋市保健福祉センター	芦屋家族会
東播磨/淡路	令和 7 年 2 月中旬	南あわじ市広田地区公民館	みはら家族会



令和 6 年度こころの病家族教室(実績・予定)

地区名	開催予定日	開催場所	担当家族会
但馬/丹波/北播磨	令和 7 年 2 月または 3 月	三木市立教育センター	ほのぼの会
中播磨	令和 6 年 5 月 27 日	姫路市総合福祉会館	ひめかれん
	令和 7 年 1 月 26 日	福崎町文化センター	中播磨峰の会
西播磨	令和 6 年 10 月 24 日	上郡町商工会館	ほっとみのり家族会
阪神北	令和 6 年 12 月～7 年 2 月	三田市内	にじの会
	令和 7 年 2 月または 3 月	伊丹市アイ愛センター	あじさいの会
阪神南/神戸	令和 7 年 1 月 18 日	芦屋市内	芦屋家族会
東播磨/淡路	令和 7 年 2 月 8 日	明石市立総合福祉センター(予定)	明石ともしび会家族会



令和 6 年度兵庫県精神障害者相談員スキルアップ研修(実績・予定)

地区名	日程	会場
北播磨・東播磨・中播磨・西播磨・淡路	令和 6 年 9 月 21 日	三木市教育センター
兵庫県全域	令和 6 年 10 月 14 日	Web リモート開催
但馬・丹波・阪神北・阪神南・神戸	令和 6 年 12 月 7 日	三田市まちづくり協働センター

精神科救急窓口のご案内



精神科救急情報センター電話番号：078-367-7210

平日：午後 5 時～翌日午前 9 時
土・休日：午前 9 時～翌日午前 9 時
(平日昼間は健康福祉事務所へ)

※ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に教えてください。



姫路地区

こころの病家族教室

「会員家族の体験談」

ひめかれん 理事・家族部会長 井口 政明

2024 年 5 月 27 日(月)姫路市総合福祉会館にて出席者 69 名で、三人の体験発表をお願いしました。家族にはそれぞれの長く苦しい歴史があります。その体験をありのままに、かつ丁寧に話してくださいました。精神障がい者への世間の視線はまだまだ冷たく、孤独で辛い生活を強いられることもあります。当事者を想い苦しむ仲間たち、そして支援者の方々に、少しでも耳を傾けて貰えたらとの強い思いで発表を引き受けてくださいました。

<体験発表の概要>

(1) 松尾享氏(ひめかれん前理事長)「息子の発病からの葛藤 ―親亡き後を見据えて―」統合失調症発症から、治療をめぐる葛藤があった。定年後は、息子さんのリハビリに注力している。一人暮らしを目指し、当たり前の日常生活に必要なことを再確認し、成年後見人制度の活用を検討している。

(2) 下村真代氏(ひめかれん会員、一般社団法人 wreath 代表理事)「母親の発病で、予期せず、ヤングケアラーとなった」中学 1 年生頃から母親が 17 年間入院した。中学 3 年生の頃に父親も入院し、兄と二人での生活を余儀なくされ、ヤングケアラーとなった。

(3) 井口政明氏(ひめかれん理事・家族部会長)「息子の発病から ―20 年の軌跡―」統合失調症を発病し 20 年が経過。昨年、民間アパートで一人暮らしが始まった。訪問看護を週 2 回受けており、安心している。一人暮らしを始められたのは、家族では無く、外部の支援者が背中を押してくれたからだと思っている。32 歳で発病、離婚して親との同居生活が始まった。本人は、病と親に振り回されて疲弊、三度の入院を体験した。両親は、病気を理解出来ず本人を苦しめ、共依存から双方が辛い生活を経験した。

ひょうかれんは、あなたのご支援で運営されています！

ひょうかれん賛助会員募集

会員の皆さまには、会誌「ひょうかれん」を年 3 回お届けします。また、年 1 回誌面でご紹介させていただきます。

年会費：団体の場合 一口 10,000 円

個人の場合 一口 3,000 円

一口以上何口でも結構です。

振込先：郵便振替 01110-4-83568 兵家連





阪神南地区

あまかれん総会、新しい出発

園田なごみ家族会 代田 ひろみ

6 月 15 日(土)尼崎中央北生涯学習プラザのホールにおいて、市職員、地域事業所、家族会員等 73 名の参加者であまかれん総会を開催。会長の交替もあり改めて第一歩を踏み出した。総会後の「メリデン版訪問家族支援」の講演から、当事者本人にポイントにおいて支援するばかりでは限界があることを認識し、家族をまるごと支援していく仕組みが必要であることを確信した。

メリデン版訪問家族支援の目指すもの

- 家族の誰かが発病すると、不安の渦に本人も家族も巻き込まれて孤立してしまう。
- 「家族任せにしない」家族任せにしている社会を変え、私達の文化を変えることが必要。
- 家族も「社会に生きる一人の市民」であるというケアラズ法がイギリスには存在している。
- 家族が当事者のために人生をおくるのは、当事者本人にとって不幸である。先ず家族が自分の人生を大切にしていくと、本人も自分の人生を大切にしていけるようになる。
- 家族以外の他人の力を借りる。何か困ったときに他人に頼んだり、相談できる人は、何とか一人暮らしをしていける。たくさんの人に少しずつ頼るのがたくましく生きていくコツ。

(メリデン版訪問家族支援の進め方)

- ①家族が集まる自宅に来てくれる。
- ②支援の提供は、1～2 週に 1 回、約 1 時間、15～20 回。(約 1 年間)
- ③家族一人一人の思いやニーズを把握して支援。
- ④家族まるごとで本人の病気や障害を理解する。
- ⑤支援者が間に入って本人と家族がより良いコミュニケーションの取り方を学ぶ。
- ⑥家族で話し合っ家族で問題解決ができるようになる。

この支援の具体的な順番や内容等は紙面上に掲載しきれないが、当日早速、総会に参加された家族から依頼があり支援に取り組むことになった。

みんなねっと賛助会員・購読者募集中

兵家連では家族会の全国組織である「みんなねっと」の活動を支え、更に発展を促す為に「月刊みんなねっと」購読者の拡大活動を行っています。



賛助会員 (購読料金)

- ・個別賛助会員 年会費 3,600 円
- ・特別賛助会員 年会費 5,000 円～
2 冊以上の団体賛助会員もあります。



詳しくは、みんなねっと (Tel03-5941-6345・平日 10～16 時) まで。

投稿

地域移行において 医療者がすべきことは？

医療法人実風会 新生病院 理事長 宮軒 将

本年 5 月に、新生病院の主催で地域連携の会を開催しました。「地域で自分らしく暮らし続けるために」というテーマで講演会を行い、講師にひょうかれんの涌波様に登壇いただき、様々な活動の報告のあとには沢山の質問があり、活動への評価や関心の高さを感じました。その後に統合失調症の当事者の方 2 名から話があり、発病の経緯や現在のリハビリに至る体験、今の生活で大事にしていることについてお話いただきました。現在はお二人とも通常の社会生活をされており、様々なご苦勞もある中よく頑張ってくれたと感慨深くお話をお聞きしました。

最後に私が医療の立場から、地域移行についての取り組みを話しました。当院は主に統合失調症の方の地域移行について地道に取り組んできました。特に中高年の未治療やそれに近い方(80-50 問題そのもの)を一旦入院でお引き受けをして専門治療を行い、退院後の地域での生活を見据えて入院中に疾病教育などの治療プログラムを行い、精神科リハビリテーション入院というべき取り組みを行ってきました。当院は急性期型の病院なので、3 か月過ぎれば病院の近傍にある通過型グループホームで一定の期間、生活機能訓練(単身生活、通所や通院の定着、習慣化など)を行い、真の地域での生活定着を目指します。

地域移行では、当事者の方に主体的に病気と取り組み、地域で自由に生活したいという気持ちを持っていただき「病気と付き合い、自分の人生を生きる」ことが重要です。医療者は、陰性症状が強い方、自信を失った方に対して自由で主体的な生活の重要性を説き、不安が解消できるように取り組みを行います。少しずつ育むような支援や上手に背中を押すことが必要です。また当事者が困らないように通院医療や通所、訪問看護を継続して治療・生活支援を行い、生活が安定・定着までの伴走が必要です。今回の講演会の当事者のお二人のように、疾病を管理して地域で安定した生活を維持し、就労や社会参加を達成できる「真のリハビリを得られる方」が一人でも多くなるよう、私たちは支援を続けたいと思います。



当事者の声

他者との交流を通してのリハビリ

株式会社 DOORS Basic academy

ゼネラルマネージャー・ピアサポーター 稲岡 加那子

神戸市で主に発達障害、精神障害、依存症に対応する自立訓練（生活訓練）事業所をオープンして早 3 年半が過ぎました。利用期間の 2 年があったという間に経ち、笑顔で旅立っていく利用者さんを見ながら、自分が思っている以上に自立訓練という場所が当事者のリハビリに役立っているにつくづく感じています。

最近統合失調症や鬱、双極症などの精神障害のベースに発達特性がみられるということとは周知のこととなってきました。感覚過敏やコミュニケーションの困難さゆえに、学業や就職で失敗体験を重ねてきた人は、生きづらさを抱え、「自信」や「自己肯定感」を失っています。自信を失うと、人と接することが怖くなって、「自分なんて」という気持ちがまた人を遠ざけ、誰とも接せずにひきこもる状態になることがあります。

自立訓練の支援員の仕事は、「他者との交流を通しての自己発見」のお手伝い。完璧じゃない自分も人と関わっていけば、「なんや、あの人もこの人もみんな完璧じゃない、でも悩みながら生きていってんねんな」とちょっとずつわかって、今の自分のままで生きていってもいいと思える。そうなれば、もう充分です。何人も力強く羽ばたいていきました。

福祉職になってみて

M・Y

私は、今、就労 B 型で働く職員ですが、少し前までは今の職場の利用者の一人でした。まさか、福祉の世界で働くことになるとは思ってもおらず、今の自分を私が一番驚いています。

14 歳の時に病気になり、27 年間病気と付き合ってきました。利用者だったときは、やる気がなく、「どうやって休もうか」そんなことばかり考えていました。スタッフに勧められて始めた仕事で、働く楽しさを知り、いつの間にか福祉の仕事を頑張ってみようと思うようになりました。

私は、過去に「飛び降り」をして、緊急入院した経験があります。完全看護で沢山の医療の方の支えがあったお陰で、最悪の状態を乗り切ることが出来ました。でも、最悪とも思われるあの時が、一番幸せを感じた時期でもあったのです。病気を認められることで、初めて安心して休むことができました。この経験は大切な思い出となりました。今も私は、沢山の人の支えられながら、日々奮闘しています。

今の私があるのはたくさんの方の支えがあってこそで、感謝を忘れず、これからも頑張っていこうと思っています。

兵家連電話相談室令和 5 年度実績報告(障害者 110 番)

①月別延べ相談数		④年齢別件数		⑥相談内容別件数			
4月	100	20歳未満	4	家族・家庭 885件		福祉サービス 84件	
5月	92	20歳代	13	人生・家族	675	在宅福祉サービス	21
6月	119	30歳代	75	家庭生活	157	施設・機関・窓口	48
7月	117	40歳代	150	その他	53	福祉機器	1
8月	97	50歳代	350	法律 83件		介護・介助	7
9月	125	60歳代	293	家族問題	25	その他	7
10月	110	70歳以上	233	財産・金銭	29	生きがいづくり 50件	
11月	126	不明/非回答	260	事故・賠償	1	趣味・余暇活動	23
12月	149			人権	26	社会参加	14
1月	68	⑤地区別件数		その他	2	行事情報	1
2月	137	神戸市	568	経済・生活 120件		その他	12
3月	138	阪神	264	生計	27	保健・医療 156件	
合計	1,378件	東播磨	51	所得保障	3	保健・衛生	44
②男女比		北播磨	4	年金・手当・恩給	18	医療相談	94
男	女	中播磨	13	税金	4	医療費	3
390	988	西播磨	223	住宅・設備	1	医療関係機関	4
③当事者割合		但馬	14	仕事	49	その他	11
当事者	家族等	丹波	20	その他	18	合計 1,378件	
1014	364	淡路	4	今年度の電話相談件数は 1,378 件と前年度(令和 4 年)と比較すると 約 300 件増加している。内容を見てみると、男女比では前年比と変わらず女性の相談が 72%と高い。			
		県外	17				
		不明/非回答	200				

令和 5 年度兵庫県精神障害者相談員相談実績

兵庫県では、精神障害者の保健福祉等に関し、当事者又は家族等が身近な立場で相談支援を行う精神障害者相談員(令和 6 年 3 月 31 日現在 251 名)が全市町に配置されています。

①圏域ごとの相談員数、相談対応件数について				②相談者の内訳(延べ人数) (人)	
圏域	相談員数(人) (R6年3月末時点)	相談対応件数 (件)	相談対応以外の 件数(会議・行事 等への参加) (件)	本人	5,047
神戸・阪神	96	1,743	112	家族	2,009
東播磨	34	956	44	その他	1,337
北播磨	23	1,097	34	合計	8,393
中播磨	19	819	0	③相談内容(件数) (件)	
西播磨	32	969	39	家族・家庭関連	2,398
但馬	20	2,472	40	法律関連	83
丹波	10	58	3	経済関連	286
淡路	17	279	167	生活関連	1,431
合計	251	8,393	439	福祉サービス関連	1,227
				社会復帰・社会参加関連	1,839
				健康・医療関連	1,129
				合計	8,393



電話相談

Q & A

今回は神戸市の「こころといのちの電話相談」の状況を紹介します。

神戸市こころといのちの電話相談担当者(社会福祉士 匿名)

令和 6 年度、神戸市健康局から、精神保健福祉対策の強化のための新規事業として「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)」の推進や自殺防止対策の強化、依存症(オーバードーズを含む)、スマホの健康リスク対策等が発表され、予算化に向けて取り組みが進んでいます。

中でも、自殺防止対策の強化には一刻の猶予ありません。神戸市における自殺死亡率(人口 10 万人当たりの自殺者数)は、2016 年から 2022 年に 14.7 人から 16.1 人へと推移しています。また、神戸市のこころといのちの電話相談の相談件数は、2019 年から 2023 年に 3,058 件から 8,994 件と急激な増加傾向にあります。国は、自殺防止対策の強化を行うことで自殺者の減少、自殺死亡率の低下を図り 2026 年度自殺死亡率 13.5 以下を目標としています。

神戸市で「26 歳医師が自殺で遺族会見“極度の長時間労働”で労災認定!」が新聞報道されたことも記憶に新しいところではありますが、厚生労働省の発表では G7 各国の中で日本の自殺死亡率はトップです。特に 20 歳~80 歳と年齢層は幅広く、職業別では無職者が 52.5%で大半がひきこもりです。原因・動機は健康問題(精神を含む)が最も多く、次に経済・生活問題と家庭問題が挙げられています。

自殺を食い止めるには

- <気づき> 家族や仲間の変化に気づいて声を掛ける。
- <傾聴> 本人の気持ちを尊重して声を掛ける。
- <つなぎ> 早めに専門家に相談するよう促す。
- <見守り> 暖かくより添いながら見守る
が大切です。

神戸市こころといのちの電話相談

TEL:078-371-1855

平日 10 時 30 分~18 時 30 分

(祝日、年末年始除く)

お気軽にご相談ください

ひょうかれん電話相談

病気のことや経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度(手帳・年金・他)利用の手続きなどについて、精神障害者相談員として県知事委嘱を受けた家族相談員や、精神保健福祉士などがご相談をお聞きします。(匿名可) ぜひご利用ください。

ハロー

TEL : 078-891-388 6

平日 10 時~12 時、13 時~15 時



兵 家 連 活 動 日 誌

役 員 の 動 き
(2024 年 5 月～8 月)

KSKP

発行人…関西障害者定期刊行物協会／大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F
一九四八年八月二〇日第三種郵便承認 毎月(一・二・三・四・五・六の日)発行

定価…五十円

5月	1	第18回県障害者のじぎくスポーツ大会(ユニバー記念競技場) <新銀>
	8	R6年度会計・業務監査(事務局) <新銀、南部、満原、小林、西原、山下税理士> 会誌#106校正会議(ZOOM) <新銀、南部、大塚、三木、代田>
	11	きょうさん兵庫支部2024総会(オンライン) <新銀>
	14	兵庫県議会議員精神保健研究会 行政視察(ありまこげんホスピタル)
	15	R6年度第1回理事会(県福祉センター) <理事・監事> R6近プロ兵庫(臨時)WG会議(県福祉センター) <※3>
	16	第69回きょうだい会(県福祉センター) <福田> 白ゆり家族会総会(西脇市総合福祉センター) <新銀>
	21	木の根会家族会総会(丹波市春日住民センター) <新銀>
	24	NPO法人明石ともび会総会(明石市総合福祉センター) <新銀>
	26	第18回県障害者のじぎくスポーツ大会 陸上競技・フライングディスク・サッカー・ソフトボール (県立三木総合防災公園) <新銀、新銀茂>
	27	ひめかれん総会・姫路地区こころの病家族教室(姫路市総合福祉会館) <新銀>
6月	28	NPO法人居場所総会(サポートセンター西明石) <新銀> みんなねっと理事会(オンライン) <新銀>
	29	令和6年度第1回兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 県レベル会議(神戸 ポートオアシス) <南部> (公財)兵庫県障害者スポーツ協会第41回理事会(兵庫県民会館) <新銀茂>
	30	R6神戸・三田地域障害者雇用連絡会議 第1回神戸地域障害者雇用・就業支援ネット ワーク会議(クリスタルタワー) <佐伯>
	2	会誌#107編集委員会(県福祉センター) <新銀、南部、大塚、三木、代田> R6年度第2回運営委員会(県福祉センター) <新銀、南部、大倉、佐伯、新銀茂>
	7	みんなねっと総会(東京都障害者福祉会館) <新銀>
	12	強度行動障害地域生活支援事業における集中支援実施協議会委員就任打合せ(事 務局) <福祉課 野口主査、新銀、涌波>
	13	R6第1回国際障害者交流センター運営協議会(国際障害者交流センター ビッグ・アイ) <新銀>
	14	R6近プロ兵庫第5回WG会議(県福祉センター) <※3> 令和6年度定時総会(県福祉センター) <会員、役員、同伴者>
	15	第34回あまかれん総会(中央北生涯学習プラザ) <新銀>
	19	宝塚家族会総会(くらんど人権文化センター) <新銀>
7月	26	県障害者スポーツ協会第21回評議員会(兵庫県民会館) <新銀>
	27	県社協第221回評議員会(県福祉センター) <新銀>
	1	家族による家族学習会 事前準備会(三田市総合福祉保健センター) <にじの会>
	2	公明党政策要望懇談会(オンライン) <新銀、南部>
	3	R6近プロ兵庫第6回WG会議(ZOOM) <※3>
	6	第5回電話相談員「語りのカフェ」(県福祉センター) <新銀>
	8	近プロ代表者会議(ZOOM) <新銀、南部>
	10	近プロ大会来賓挨拶依頼(県庁、県議会、神戸市、兵庫県精神科病院協会) <新銀、南部、涌波>
8月	12	県福祉サービス運営適正化委員会選考委員会(県福祉センター) <新銀> 家族による家族学習会 直前打合せ(三田市総合福祉保健センター) <にじの会>
	18	第70回きょうだい会(県福祉センター) <福田> 県障害者スポーツ協会 増田さま所(事務局) <新銀>
	22	立憲民主党兵庫県連 政策要望・意見交換会(神戸市教育会館) <新銀、満原>
	25	公益社団法人日本精神科病院協会第13回日本精神科医学会学術大会(仙台国際 センター) <新銀>
	26	R6年度強度行動障害地域生活支援事業(第2期)集中支援実施協議会(兵庫県民 会館) <涌波> 公益社団法人日本精神科病院協会第13回日本精神科医学会学術大会(仙台国際 センター) <新銀>
	27	家族による家族学習会①(三田市総合福祉保健センター) <にじの会> 県福祉サービス運営適正化委員会・運営監視協議会会議(県福祉センター) <三木> 神戸やまぎ財団 助成金申請の説明(やまぎ財団事務所) <南部>
	7	R6近プロ兵庫第7回WG会議(ZOOM) <※3> R6年度第3回運営委員会(ZOOM) <新銀、南部、大倉、佐伯、新銀茂>
	9	第1回ユニバーサルなスポーツ施設検討会 県ユニバーサル推進課(県庁) <新銀>
9月	10	家族による家族学習会②(三田市総合福祉保健センター) <にじの会> 第23回全国障害者スポーツ大会SAGA2024兵庫県選手団卓球競技選手育成・強化 合同練習会ボランティア(県立障害者スポーツ交流館) <新銀>
	18	共同募金会助成金プレゼン(神戸芸術センター) <南部>
	22	中・西播磨地区精神保健福祉研修会(福岡町文化センター) <大塚>
	23	第23回全国障害者スポーツ大会SAGA2024兵庫県選手団卓球競技選手育成・強化 合同練習会ボランティア(県立障害者スポーツ交流館) <新銀>
	24	初田元理事訴訟 入廷行動(神戸地方裁判所) <新銀、満原、清水>
	26	会誌#107校正会議(ZOOM) <新銀、南部、大塚、三木、代田>
	28	会長会(ZOOM) <新銀、南部、涌波、満原、大倉、家族会会長>
	29	家族による家族学習会③(三田市総合福祉保健センター) <にじの会>

※1(運営委員会)：新銀、南部、涌波、満原、大倉、佐伯、新銀茂

※2(会誌編集委員)：新銀、南部、涌波、大塚、三木、代田

※3(近プロ兵庫WG)：運営委員会、三木、大塚

編集後記

ひょうかれん定時総会後に「家族会が今後活発に活動するためには」というテーマで、3
班に分かれてグループ討議を行った。多くの家族会から「役員の後継者と事務を担当する人を求めている」
との声が出た。我々「ひめかれん」も全く同じで、急ぐ課題の第一だ。(三木)

編集委員：新銀、涌波、南部、大塚、三木、代田